

星野裕司

助教授 博士(工学)

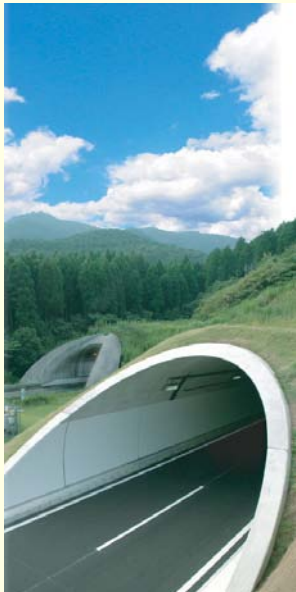
hoshino@kumamoto-u.ac.jp

研究のキーワード

景観デザイン, 土木デザイン, ランドスケープデザイン, 景観論, 風景デザイン史, CG

地方都市における景観デザインの実践的研究

「加久藤トンネル坑口デザイン」や「熊本駅周辺都市デザイン」、「白川緑の区間」などの景観デザインに携わっている。このような実践活動に基づき、空間と人間活動の関係の解析、模型やCGなどのデザインツールの開発、住民参加やWSなどのまちづくり手法の考察などの研究を行っている。



加久藤トンネル坑口デザイン



上: 熊本駅前広場 下: 白川緑の区間

研究課題

- 1) 地方都市における景観デザインの実践
- 2) 新しい景観論としての状況景観論の構築
- 3) 河川周辺の歩行シーケンスの分析
- 4) 駅周辺の再開発を活かしたまちづくりの可能性
- 5) 都市の活力への可能性としてのスキマに関する研究
- 6) 九州の土木遺産の設計思想と活用に関する研究
- 7) 模型やCGなどのデザインツールに関する研究
- 8) 住民参加など地方におけるまちづくり手法に関する研究

企業の皆様へ

「美しい国づくり政策大綱」、「景観法」など、国レベルでの景観に対する体制は整いつつありますが、今後は、地域の、地域による、地域のための景観デザインの実践が重要となっていきます。本当の景観デザインは、国や中央ではできません。ぜひ、この地域に暮らしているという視点から、地域密着という利点を活かして、一緒にがんばりましょう！